

レパーサ[®]皮下注 自己注射投与を受けられる方へ



レパーサ[®]皮下注420mg オートミニドージャー
自己投与のための

使い方ハンドブック

【監修】金沢大学 医薬保健研究域医学系・循環器内科学
准教授 川尻 剛照 先生

目次

はじめに	3
保管方法	4
レパーサ420mgオートミニドージャーについて	5
ご使用のポイント	6
ステップ1: 注射の前に	7
ステップ2: 準備をする	12
ステップ3: 注射する	18
ステップ4: 終了(取りはずし・片付け)	26
投与方法クイックガイド	30
よくある質問	32

レパーサ®を処方された 患者さんとそのご家族の方へ

レパーサ®皮下注420mgオートミニドージャーの使い方は、
以下のサイトからイラスト、動画でご確認できます。

URL : <https://repatha-pts.jp/>



はじめに

レパーサ[®]皮下注420mgオートミニドージャーとは？

レパーサ[®]皮下注420mgオートミニドージャー（以下、レパーサ420mgオートミニドージャー）は、4週間に1回*の使用で悪玉コレステロールと言われる血液中のLDL-コレステロールを下げるためのおクスリです。

注射の回数は患者さんによって異なりますので、注射は主治医の指示どおりに行ってください。

ご使用になる前に

自己注射とは、患者さんご自身で行う注射のことです。

自己注射を安全に正しく行うためには、

実際に注射をされる患者さんが、主治医から十分な説明を受けた後に、

医療従事者の指導のもと、注射方法を練習する必要があります。

自己注射がうまく行えない場合や、わからないことがある場合は、

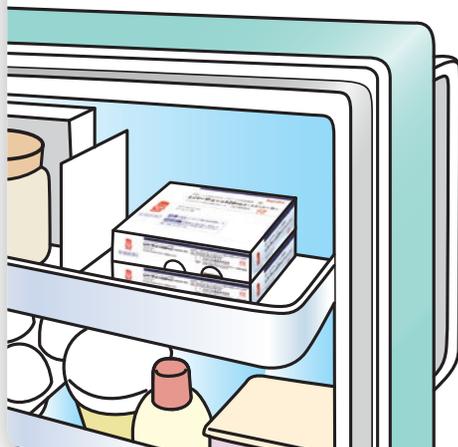
必ず主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

*420mg/4週で効果不十分、またはLDLアフェレーシスの補助として使用する場合、2週間に1回の使用とすることがあります。

保管方法



冷蔵庫のドアポケットなどに保管



凍結させない



高温になる場所で保管しない



持ち運びは保冷バッグで

- ・病院や薬局からの帰り道、外出の際に持ち運ぶ場合は、保冷剤を入れた保冷バッグを使いましょう。



- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 箱に入れたまま保管し、光や衝撃を受けないようにしてください。
- 冷蔵庫に入れ、2~8℃で保管してください。
冷凍庫など凍結する危険性のあるところは避けてください。
冷蔵庫のドアポケットなど、冷気に直接触れないところに保管してください。
- 2~8℃で保管できない場合(病院や薬局からの帰り道など)は、温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。例えば、車のダッシュボードやトランクでの保管は避けてください。

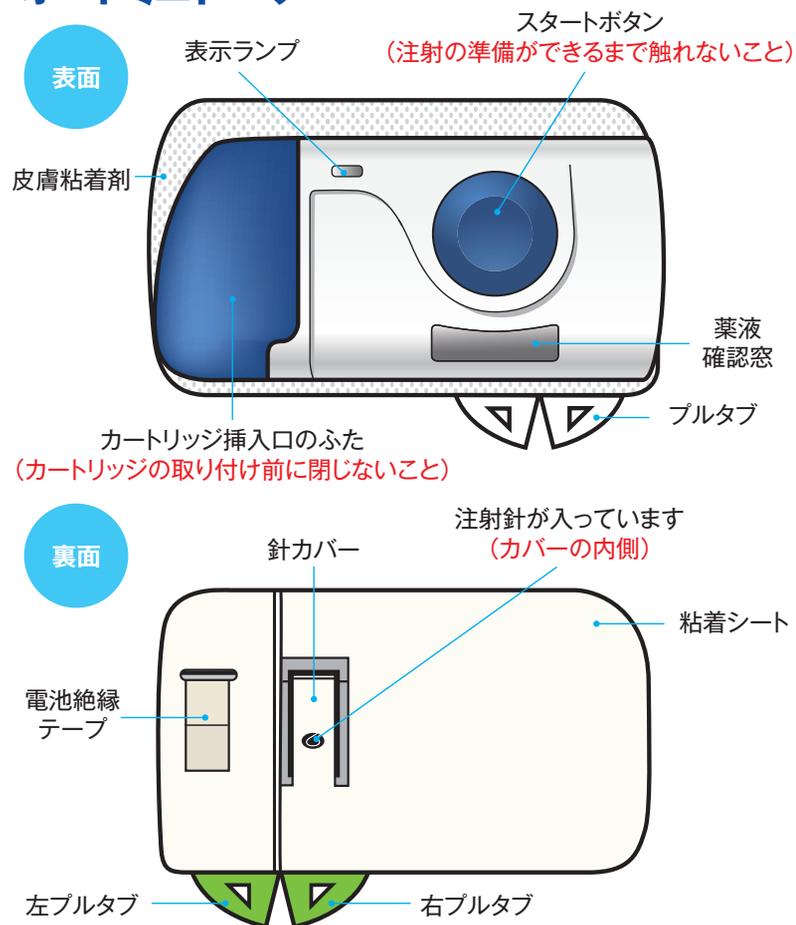
レパーサ420mgオートミニドージャーについて

医薬品を充填したカートリッジ



この製品は医薬品を充填したカートリッジと、1回使いきり・使い捨ての専用自動注入器であるオートミニドージャーから構成されます。カートリッジをオートミニドージャーに装着し皮下注射します。

オートミニドージャー



注射針が入っています。

ご使用のポイント

1 装着準備中に、誤ってスタートボタンに触れないようにする。

2 箱を開け、白い紙のカバーをはがし、プラスチックカバーを外します。

使用時の注意

- 皮膚に触って注射の準備ができるまで、スタートボタンに触れないでください。
- 古い紙のカバーがなくなつたり、破れている場合は使用せず、新しいオートミニドナーとカートリッジを使用してください。

スタートボタンに触れないよう注意してください。

P.9以降

2 カートリッジを底部から真っ直ぐに取り付け、奥までしっかりと押す。

4 消毒したカートリッジをオートミニドナーの裏までしっかりと押し込みます。

カートリッジ本体を持ち、上部のふたに触れないよう、注意してください。

スタートボタンに触れないよう注意してください。

P.15~16

ステップ2: 準備をする(つづき)

カートリッジを裏までしっかりと押し込んでください。

カートリッジがはみ出ている

カートリッジ装着後

機器内部で薬液が流路に流れはじめるため、針先から数滴の薬液が落ちることがありますが、使用に問題はありません。

例) 机上など安定した場所でオートミニドナー本体を垂直に立てて置き、手で支えながら挿入する。

3 注射中に、針カバーが開かないようにする。

貼り付ける前の注意点

貼り付けた後の注意点

注射中に針カバーが開かないよう注意してください。

P.21, 23

オートミニドナーの貼り付けはできません。一度皮膚に貼った後に位置を変えたいです。

スタートボタンに触れないよう注意してください。

注射中に針カバーが開かないよう注意してください。

例) 腹部の場合、椅子にもたれかかり、背すじをのぼして深く座り、おへそより少し上側へ装着する。投与終了まで安静を維持する。

4 スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押す。

ステップ3: 注射する(つづき)

4 スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

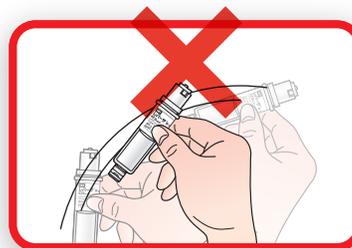
P.24

ステップ1：注射の前に

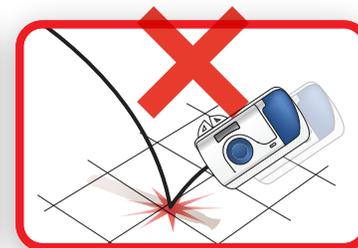
使用時の注意

- ・ 医師等から訓練を受けていない場合は、注射しないでください。
- ・ 箱に表示した使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。
- ・ 激しく振らないでください。
- ・ 硬いところに落とす場合は使用しないでください。ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しいオートミニドージャーとカートリッジを使用してください。
- ・ 一度でも凍結した製剤は使用せず、新しいオートミニドージャーとカートリッジを使用してください。
- ・ 水やほかの液体で濡らさないでください。濡らしてはいけな電子部品が入っています。
- ・ オートミニドージャーはレパサ皮下注420mg専用自動注入器です。他の用途で使用しないでください。

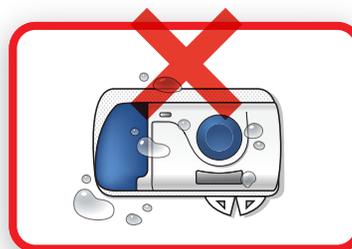
激しく振らない



落とさない



濡らさない



その他の環境条件

- ・ オートミニドージャーを操作する際の温度範囲は15～40℃、相対湿度範囲は15～85%、高度の範囲は-300～3,500mです。
- ・ 注射中は、オートミニドージャーを携帯電話など電波を発する

電子機器から30cm以上離してください。ご不明な場合は、アムジェン メディカルインフォメーションセンター (0120-952-206)までご相談ください。

警告：機器を分解・改造しないでください。

ステップ1：注射の前に(つづき)

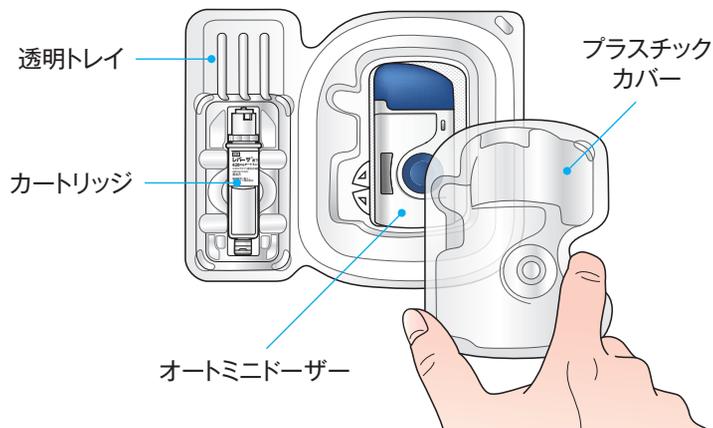
1 箱を冷蔵庫から取り出し、室温で45分待ちます。



箱の中のオートミニドージャーとカートリッジを45分以上かけて室温に戻します。

・オートミニドージャーとカートリッジを手で温めたり、お湯や電子レンジなどの熱源を使って温めないでください。

2 箱を開け、白い紙のカバーをはがし、プラスチックカバーを外します。



注射の準備ができるまで、オートミニドーズとカートリッジは透明トレイに入れたままにしてください。

- ・皮膚に貼って注射の準備ができるまで、スタートボタンに触れないでください。
- ・白い紙のカバーがなかったり、破れている場合は使用せず、新しいオートミニドーズとカートリッジを使用してください。



使用時の注意

- ・スタートボタンは1回しか押せません。エラーが起きたら使用できません。エラーが起きた場合は使用せず、新しいオートミニドーズとカートリッジを使用してください。



スタートボタンに触れないよう注意してください。

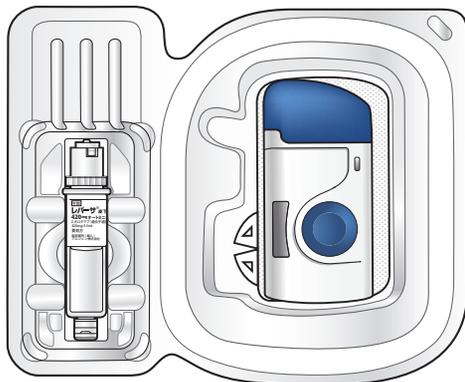


針が露出

準備するもの

3 注射に必要なものを用意し、手を石鹸でよく洗ってください。

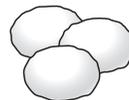
オートミニドザーとカートリッジが入った透明トレイ



アルコール綿



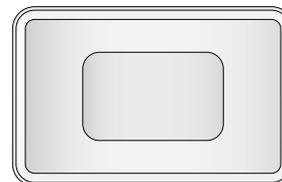
綿球または滅菌ガーゼ



絆創膏(必要に応じて)



専用廃棄袋
(廃棄プレート付属)

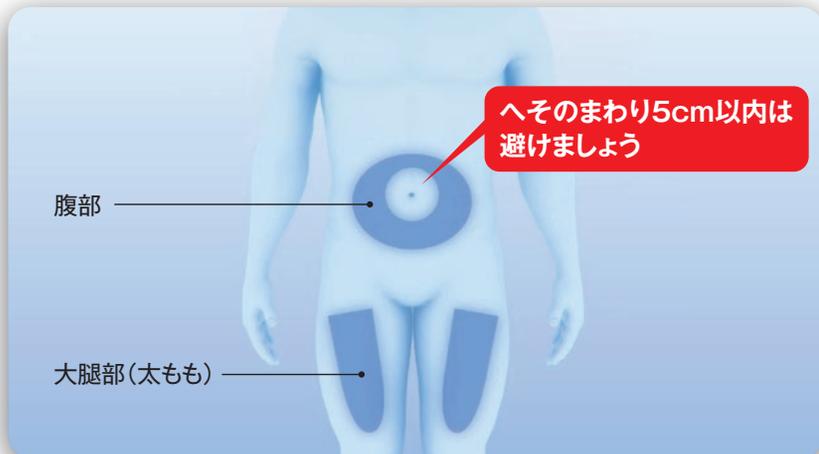


清潔で明るく平らな場所に次のものを置きます。

- ・オートミニドザーとカートリッジが入った透明トレイ
- ・アルコール綿
- ・綿球または滅菌ガーゼ
- ・専用廃棄袋(廃棄プレート付属)
- ・絆創膏(必要に応じて)

注射部位

4 注射する部位を選んで消毒します。



次の部位に注射できます。

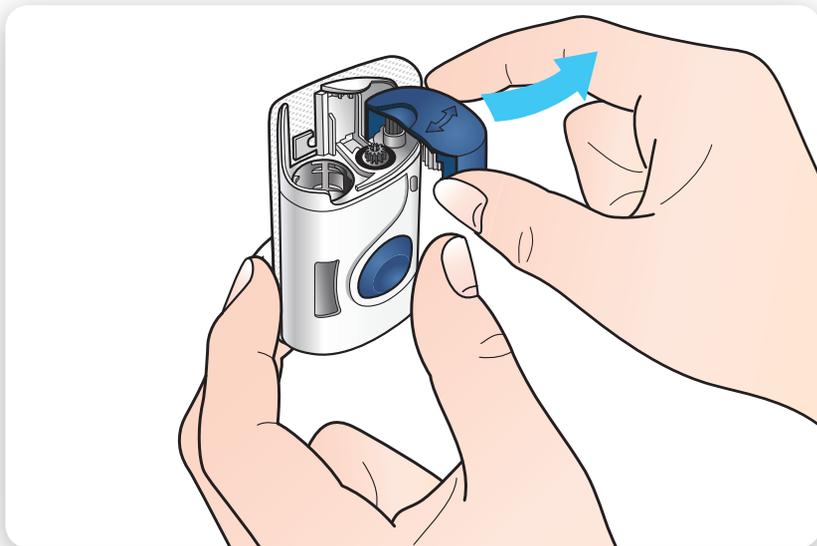
- 腹部、ただしへそのまわり5cm以内は避ける
- 大腿部(太もも)

- ・オートミニドージャーがよく貼り付くように、注射する部位を選んで消毒します。
- ・体毛が少ないところを選ぶか、その部分の体毛を短く切って整えます。
- ・硬く平らな皮膚面を選んでください。
- ・注射する部位をアルコール綿で消毒して、皮膚を乾かします。
 - 注射するまで消毒した部位に再び触れないでください。
 - 皮膚が敏感なところ、挫傷、発赤または硬結(炎症やうっ血により軟組織が硬くなること)している部位に注射しないでください。
 - しわ、ひだ、傷跡、妊娠線、ほくろ、あざ、体毛が多いところは避けてください。
 - 医師、看護師に皮膚の状態をみてもらいご相談ください。

重要: オートミニドージャーがよく貼り付くように、硬く平らな皮膚面を選ぶことが大切です。

ステップ2: 準備をする

1 カートリッジ挿入口のふたを右方向に動かして開けます。



ふたは開けたままにします。カートリッジを差し込む前にふたは閉めないでください。

・カートリッジを差し込む前に、もし間違っただたを閉めてしまったら、ふたの左脇を押して、ふたの歯止めをはずして開けてください。

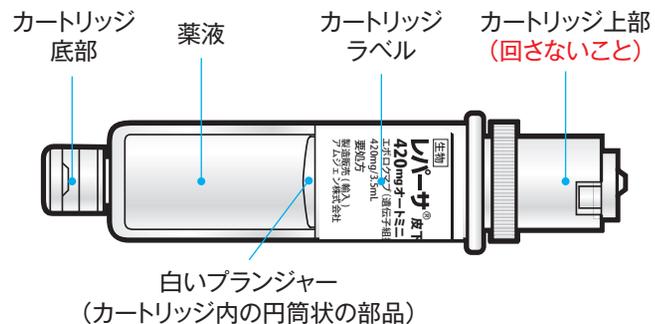


スタートボタンに触れないよう注意してください。



針が露出

2 カートリッジを点検します。

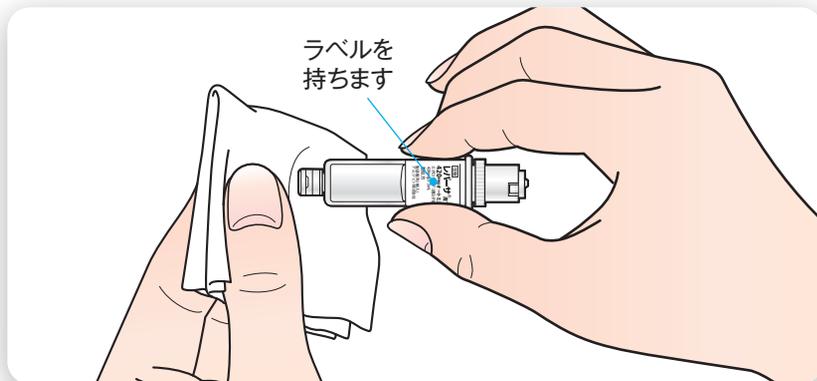


カートリッジの中の薬液が透明で、無色～わずかに褐色であることを確認してください。

- 以下の場合は使用しないでください。
 - 薬液に変色、にごり、浮遊物が認められる場合。
 - カートリッジにひびが生じている場合や破損しているところがある場合。
 - カートリッジの部品が付いていないか、しっかりと取り付けられていない場合。
 - カートリッジの使用期限を過ぎている場合。
- 気泡(空気の泡)が認められることがありますが、注射する上で問題はありません。

ステップ2: 準備をする(つづき)

3 カートリッジ底部を消毒します。



片手でカートリッジのラベル部分を持ち、カートリッジ底部をアルコール綿でふきます。

- ・アルコール綿で消毒した後にカートリッジ底部に触れないでください。



カートリッジの上部や底部を外したり回したりしないでください。



4 消毒したカートリッジをオートミニドーズの奥までしっかりと押し込みます。

底部から
真っ直ぐ挿入



机上など、安定した場所に底面を固定すると押し込みやすくなります。



カートリッジ本体を持ち、上部のふたに触れないよう、注意してください。



スタートボタンに触れないよう注意してください。

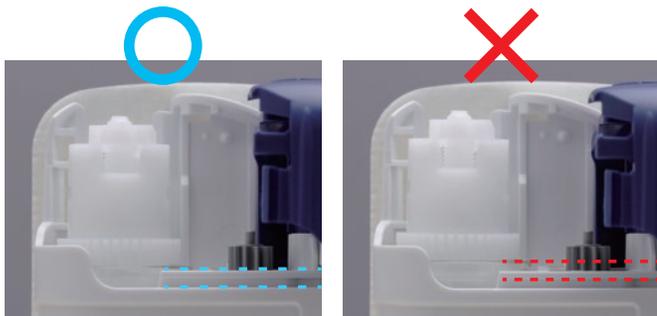


針が露出

ステップ2: 準備をする(つづき)



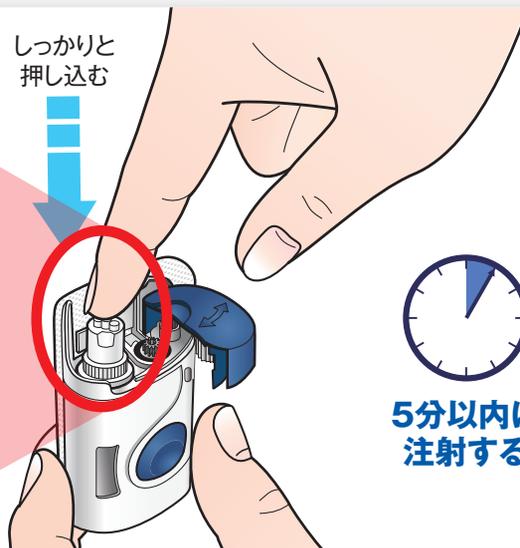
カートリッジを奥までしっかりと押し込んでください
構造上、カートリッジを押し込む際、抵抗を感じる場合があります。
※一度押し込むと取り出せません



カートリッジが少し浮いている

- ・カートリッジを取り付けたオートミニドザーは5分以内に注射してください。取り付け後5分以上経過した場合、薬液が乾き注射できないことがあります。

しっかりと
押し込む



5分以内に
注射する

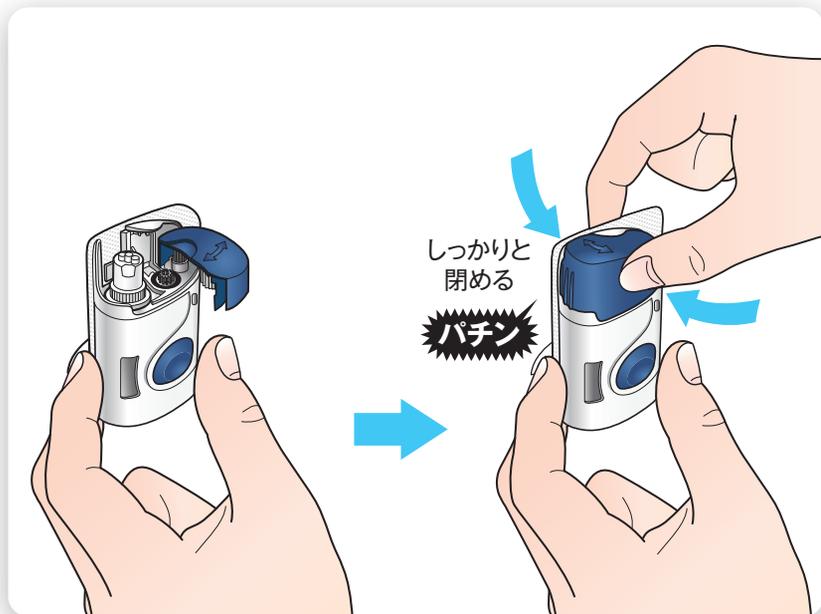


カートリッジ装着後



機器内部で薬液が流路に流れはじめるため、針先から数滴の液漏れがみられることがありますが、使用に問題はありません。

5 ふたを左に動かし、パチンと音がするまでしっかりと閉めます。



ふたを閉める前に、カートリッジがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

ふたを左に動かし、パチンと音がするまでしっかりと閉めます。

- ・カートリッジが入っていないか、しっかりと押し込まれていない場合はふたを閉めないでください。
- ・皮膚に貼るまで、スタートボタンに触れないでください。

重要：カートリッジを取り付けたら、すぐに次のステップに進んでください。



カートリッジを取り付け、ふたを閉めるとロックがかかり、一度閉めると開けることはできません。



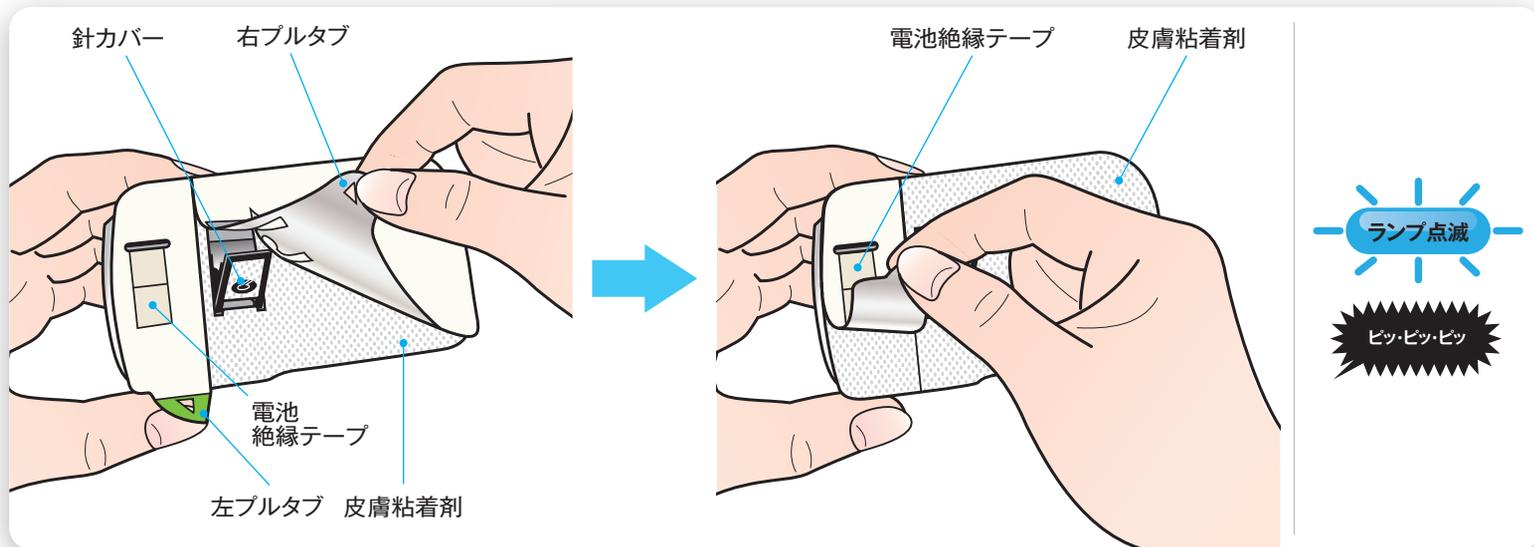
スタートボタンに触れないよう注意してください。



針が露出

ステップ3: 注射する

1 緑のプルタブを両方ともはがします。



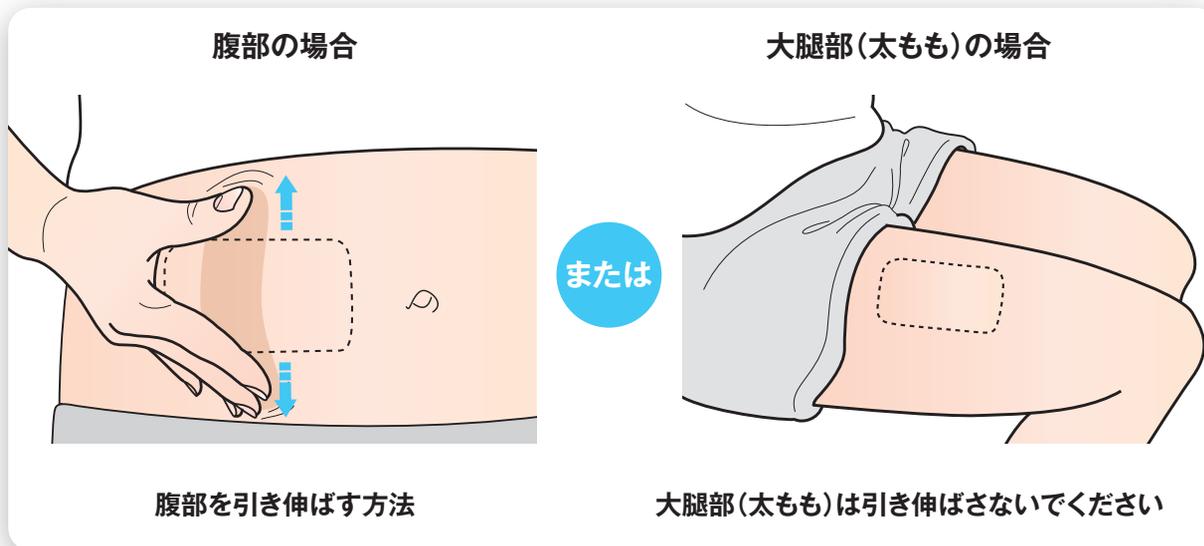
表示ランプが青く点滅していれば、オートミニドザーのスイッチが入っています。
左のタブをはがすと電池絶縁テープが引き抜かれて通電し、電源が入ります。
ピッという音が何回かして表示ランプが青く点滅します。

- ・左右のプルタブをはがしたあと、皮膚粘着剤をオートミニドージャーからはがさないでください。
- ・皮膚粘着剤に触れないでください。
- ・皮膚に貼るまで、スタートボタンに触れないでください。
- ・針カバー部分に触れないでください。
- ・赤の表示ランプが点滅したら皮膚に貼らないでください。
- ・皮膚粘着剤どうしが貼り付かないように注意してください。



ステップ3: 注射する(つづき)

2 オートミニドザーを貼る準備をします。



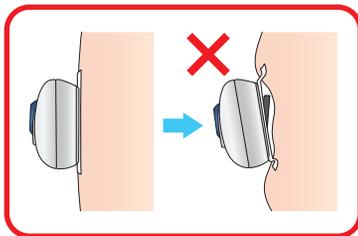
オートミニドザーを貼る場所は、腹部または大腿部(太もも)です。



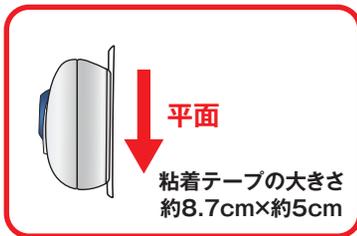
投与時の注意

- ・ 腹部の皮膚にたるみが見られる場合には、大腿部(太もも)への投与をおすすめします。
- ・ 投与中に身体をそらしたり、ねじったり、屈んだりすると装着部位から針カバーがはずれ、エラーの原因になります。

貼り付ける前の注意点

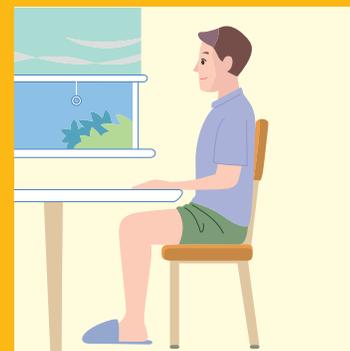


皮膚のしわやくぼみ避ける

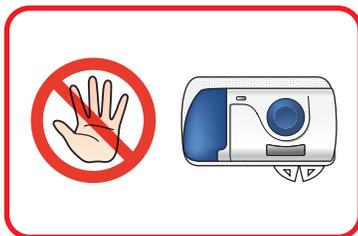


硬く平らな皮膚面を選ぶ
平面
粘着テープの大きさ
約8.7cm×約5cm

重要：皮膚がひだになったりふくらんだりしないように姿勢を整えます。



貼り付けた後の注意点



注射中は
オートミニドナーを動かさない

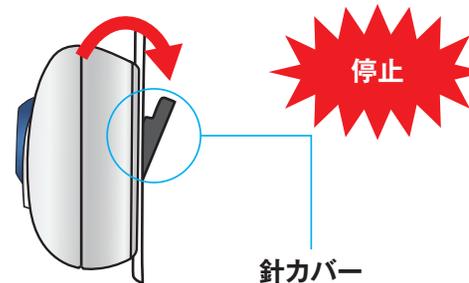


注射中は
可能な限り安静にする
5
約5分*

*変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドナーもまだ流通している可能性があります。
自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドナー変更品」の記載がございますので、
ご確認の上ご使用ください。

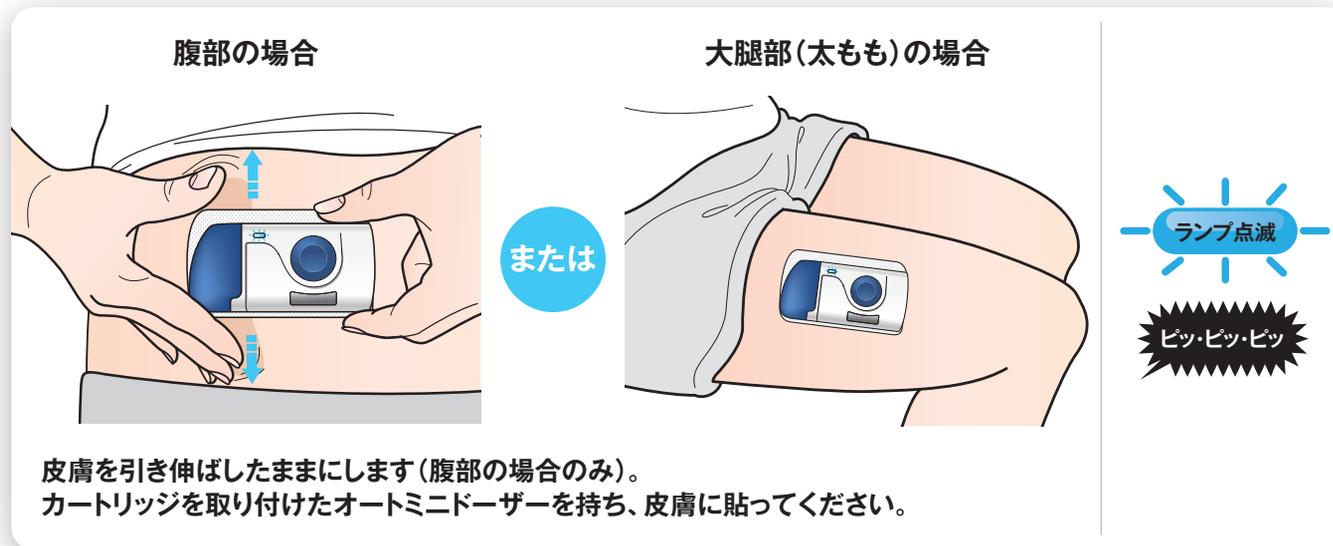


注射中に針カバーが開かないよう
注意してください。



ステップ3: 注射する(つづき)

3 表示ランプが青く点滅しているのを確認し、オートミニドージャーを貼ります。



カートリッジを取り付けたオートミニドージャーは、体の上に平らに置きます。

必ず粘着剤全体が皮膚に貼り付くようにしてください。

指で粘着剤の端をなぞって固定してください。

衣服がはさまっていないこと、表示ランプが青く点滅していることを確認してください。

- ・オートミニドーズの貼り直しはできません。一度皮膚に貼った後に位置を変えないでください。



スタートボタンに触れないよう
注意してください。



針が露出

貼り付けた後の注意点



注射中は
オートミニドーズを動かさない



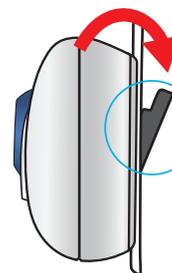
約5分*

注射中は
可能な限り安静にする

*変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドーズもまだ流通している可能性があります。
自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドーズ変更品」の記載がございますので、
ご確認の上ご使用ください。



注射中に針カバーが開かないよう
注意してください。

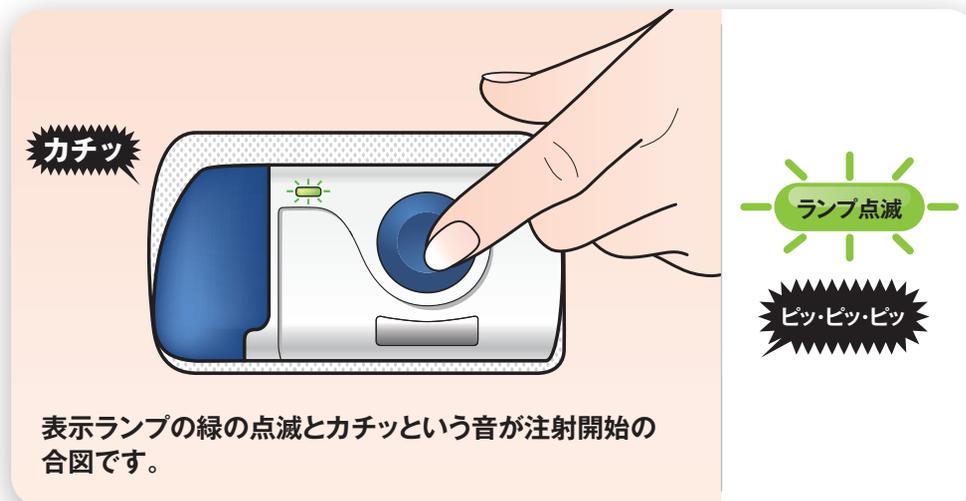


停止

針カバー

ステップ3: 注射する(つづき)

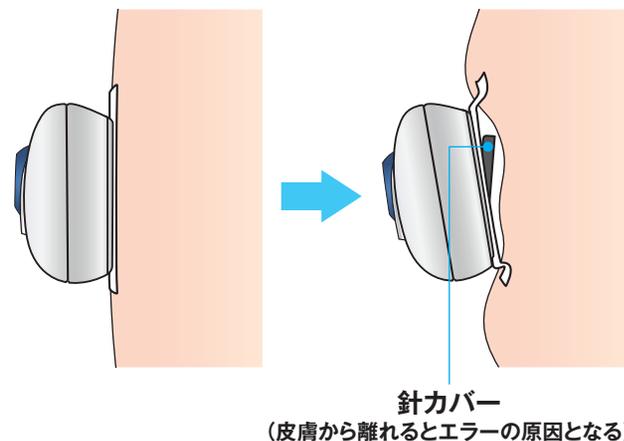
- 4** スタートボタンをカチッと音がするまで
しっかり押し込みます。



表示ランプが緑に点滅していることを確認してください。
ピッという音が何回かして注射開始を知らせます。

- ・薬液を押し出す音がすることがあります。
- ・注射針が押しつけられたような感じがすることがあります。

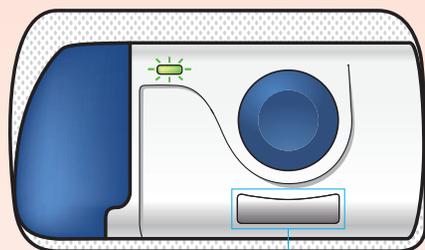
! オートミニドージャーが皮膚から離れると針がはずれ、エラーの原因となります。
注射中に体をそらしたり、ねじったり、屈んだりするなど、投与部位に負荷がかかるような動作は避けてください。



皮膚のしわやたるみ、動作などで、貼りつけ面が平面でなくなると、針がはずれます。

5 注射には約5分*がかかります。注射が終わると表示ランプが緑の点滅から点灯に変わり、ピツという音が何回かします。

注射中



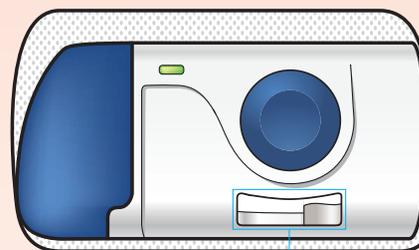
薬液確認窓



約5分*



注射終了



薬液確認窓

ランプ点灯

ピツ・ピツ・ピツ

注射中には継続的に薬液を押し出す音がします。

次の状態で注射終了です。

- ・緑の表示ランプの点滅が止まり、点灯に変わる。
- ・ピツという音が何回かする。
- ・薬液確認窓から白いプランジャー（カートリッジ内の円筒状の部品）のみが見える。

*変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドージャーもまだ流通している可能性があります。
自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドージャー変更品」の記載がございますので、ご確認の上
ご使用ください。

ステップ4: 終了(取りはずし・片付け)

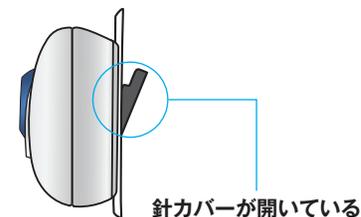
- 1 注射が終わったら、皮膚粘着剤を持って注意しながらオートミニドザーを皮膚からはがします。



使用済みのオートミニドザーを皮膚からはがすとピッという音がします。

はがした後、薬液がすべて注射された合図として、使用済みの白いプランジャーが薬液確認窓全体に見え、表示ランプの緑の点灯が消えていることを確認してください。

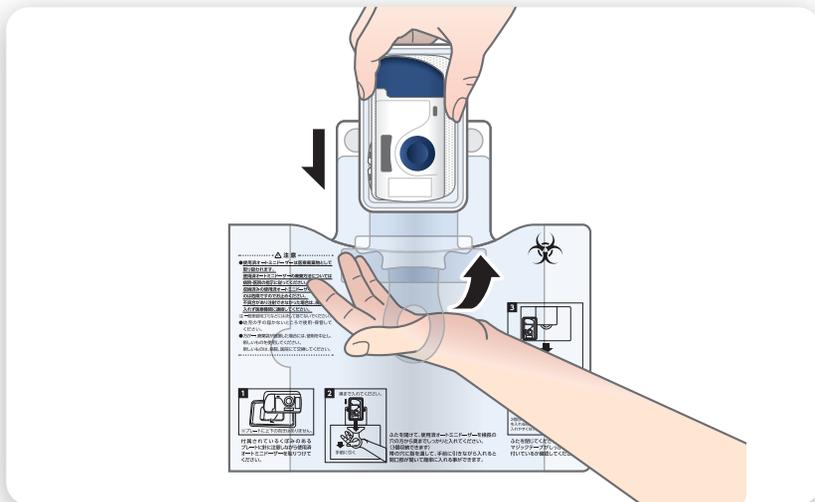
! 皮膚からはがす際に針カバーに触れないよう注意してください。
誤って使用後の針が指に刺さるおそれがあります。
もし針カバーが正しく動かなかった場合は針カバーに触れずに、専用廃棄プレートに貼り付け、専用廃棄袋に入れ廃棄してください。



針カバーが正しく動作した場合

! 使用済みのオートミニドザーをはがした後に皮膚に薬液が何滴か残っていたり、オートミニドザーから薬液が数滴漏れても問題ありません。

2 使用済みのオートミニドーズを 専用廃棄プレートに貼り付け、専用廃棄袋に捨てます。



オートミニドーズには電池、電子部品、注射針が入っていますが、分解しないでください(電池を分別して廃棄する必要はありません)。

使用済みのオートミニドーズは、医療廃棄物として適切に廃棄してください。

(自己注射の場合)

- ・専用廃棄袋がない場合、家庭にある次のような容器を代用することができます：
 - 頑丈なプラスチック製のもの
 - 耐貫通性ではないが耐穿刺性のふたで密閉できるもの
 - 使用中に真っ直ぐ安定して立つもの
 - 耐漏性があるもの
 - 有害廃棄物の警告ラベルが適切に貼付されているもの
- ・専用廃棄袋は医療廃棄物として廃棄する必要があります。廃棄方法については医療従事者の指示に必ず従ってください。オートミニドーズや専用廃棄袋を再利用したり、家庭ゴミとして捨てたりしないでください。

重要：専用廃棄袋は常にお子様の手の届かないところに保管してください。

ステップ4: 終了(取りはずし・片付け)(つづき)

3 注射した部位を確認します。



出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼでおさえます。注射した部位をもまないでください。必要に応じて絆創膏を貼ってください。



注射したところは、もんだりこすったりしないでください。



皮膚粘着剤の貼付部位にトラブル(かぶれなど)が生じた場合、必要に応じて、医師や看護師に相談してください。

はじめに

オートミッドラー
について

ご使用の
ポイント

ステップ1
注射の前に

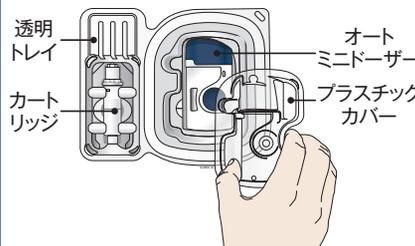
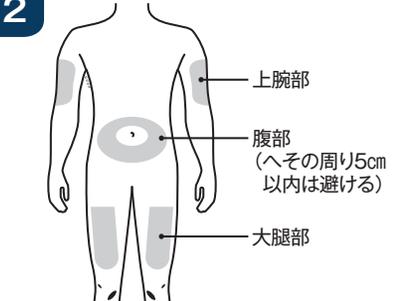
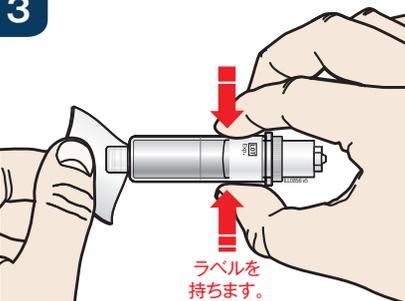
ステップ2
準備をする

ステップ3
注射する

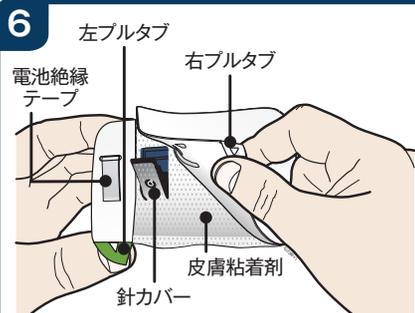
ステップ4
終了

投与方法クイックガイド

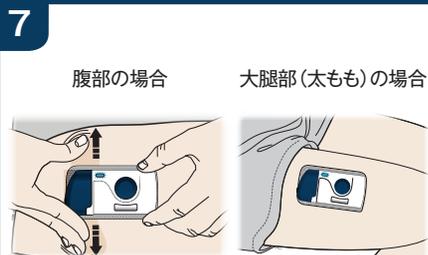
本クイックガイドを利用する前に、レバーサ®皮下注420mgオートミニドージャーに同梱の取扱説明書を必ずご確認ください。

<p>1</p>  <p>透明トレイ カートリッジ オートミニドージャー プラスチックカバー</p>	<p>2</p>  <p>上腕部 腹部 (へその周り5cm以内は避ける) 大腿部</p>	<p>3</p>  <p>ラベルを持ちます。</p>
<p>箱を冷蔵庫から取り出し、室温で45分待ちます。箱を開け、白い紙のカバーをはがし、透明のプラスチックカバーを外します。</p>	<p>オートミニドージャーがよく貼り付くように、注射する部位を選んで消毒します。体毛の少なく、硬く平らな皮膚面を選びます。</p>	<p>カートリッジのラベル部分を持ち、カートリッジを点検し、底部を消毒します。 ▲ カートリッジの上部や底部を外したり回したりしないでください。</p>
<p>4</p>  <p>カートリッジを底部から真っ直ぐに挿入</p>	 <p>奥までしっかりと押し込む</p> <p>5分以内に注射する</p>	<p>5</p>  <p>しっかりと閉める</p> <p>パチン</p>
<p>消毒したカートリッジをオートミニドージャーに取り付けて、奥までしっかりと押し込みます。</p>		<p>ふたを左に動かし、パチンと音がするまでしっかりと閉めます。</p>

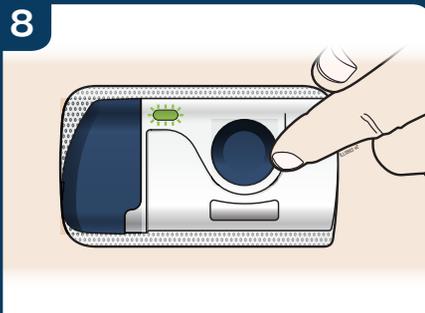
▲ 注射の準備ができるまで、スタートボタンに触れないでください。



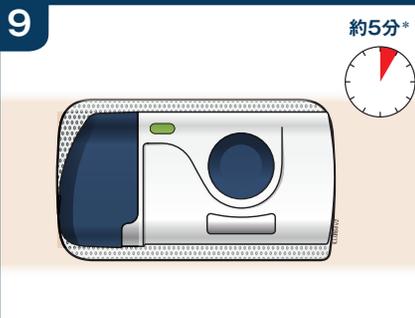
緑のプルタブを両方ともはがし、皮膚粘着剤が見える状態にします。表示ランプが青く点滅していれば、オートミニドーズのスイッチが入っています。



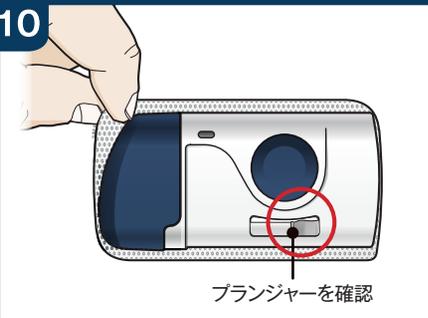
表示ランプが青く点滅しているのを確認し、皮膚にオートミニドーズを貼ります。



スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。表示ランプの緑の点滅とカチッという音が注射開始の合図です。



注射には約5分* かかります。注射が終わると表示ランプが緑の点滅から点灯に変わり、ピツという音が何回かします。



皮膚粘着剤を持って注意しながらオートミニドーズを皮膚からはがします。使用済みの白いプランジャーが薬液確認窓全体に見えていることを確認してください。

レパサ®皮下注420mgオートミニドーズの使い方は以下のサイトからイラスト、動画でご確認できます。



URL : <https://repatha-pts.jp/>

お問合せ先(患者さん、ご家族の方向け)

レパサくすり相談センター

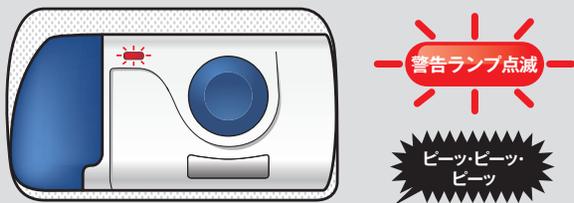
受付時間 / 月～金 9:00～17:30 (土日・祝日・会社休日を除く)

☎ 0120-803-792

*変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドーズもまだ流通している可能性があります。
自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドーズ変更品」の記載がございますので、ご確認の上ご使用ください。

よくある質問

- Q** カートリッジを取り付けたオートミニドーズの表示ランプがずっと赤く点滅してピーツという音がしている場合の対処法は？



カートリッジを取り付けたオートミニドーズの使用を中止してください。オートミニドーズが体に貼り付けられていたら、注意しながらはがします。

投与中に表示ランプが赤く点滅した場合は薬液の全量または一部が投与できていない可能性がありますので、担当医師にご相談ください。

- Q** カートリッジを挿入する際にオートミニドーズのふたを開けられない場合の対処法は？

オートミニドーズのふたを開けるには、ふたの左側を押して、ふたの歯止めを外して開けてください。

- Q** 緑のプルタブをはがしたときに、オートミニドーズからピツという音が聞こえず、表示ランプが青く点滅しなかった場合の対処法は？

電池絶縁テープと針カバーを覆っている紙を含め、両方の緑のプルタブがオートミニドーズから完全にはがれているかどうかを確認してください。両方のプルタブが完全にはがれているのに、オートミニドーズのスイッチが入らない場合は、新しいオートミニドーズとカートリッジを使用してください。

- Q** オートミニドーズを皮膚に貼り付ける前に、スタートボタンを押してしまった場合の対処法は？

緑のプルタブをはがし、スタートボタンを押してしまった場合は、オートミニドーズからピーツという音が聞こえ、表示ランプが赤く点滅します。オートミニドーズが停止したら使用を中止、廃棄をして、新しいオートミニドーズとカートリッジを使用してください。

Q プルタブをはがした後、
定期的に音が鳴っている場合の対処法は？

オートミニドーズのプルタブをはがし通電させると、スタートボタンを押すまで定期的に通知音が鳴りますが、異常ではありません。すみやかに皮膚に貼り付けて、スタートボタンを押し、投与を開始してください。

Q スタートボタンを押したのに何も起きない場合の
対処法は？

オートミニドーズを皮膚からゆっくりと注意しながらはがしてください。いったん皮膚に貼り付けたオートミニドーズを再度貼り付けないでください。新しいオートミニドーズとカートリッジを使用してください。

Q 体に貼り付けたオートミニドーズから
ピーツという音が聞こえ、
表示ランプが赤く点滅した場合の対処法は？

これは、エラーが起きていることを意味しています。こうなった場合、注射は自動的に止まります。オートミニドーズを皮膚からゆっくりと注意しながらはがしてください。この場合、薬液の全量または一部が投与できていない可能性がありますので、担当医師にご相談ください。

よくある質問(つづき)

Q オートミニドージャーが注射中に体からはがれた場合はどうすればいいですか？

オートミニドージャーが注射中にはがれた場合、ピーツという音が聞こえ、赤い表示ランプが点滅し、オートミニドージャーは停止します。カートリッジを取り付けたオートミニドージャーを再度使用することはできませんので、体に再度貼り付けないでください。この場合、薬液の全量または一部が投与できていない可能性がありますので、担当医師にご相談ください。

Q エラーが発生したオートミニドージャーはどうすればいいですか？

製品の返却方法については、アムジェン メディカルインフォメーションセンター 0120-952-206に連絡をお願いします。

Q オートミニドージャーの針から薬液の漏出(液漏れ)がみられることはありますか？

カートリッジ装着後、機器内部で薬液が流路に流れはじめると、針先から数滴の液漏れがみられることがありますが、使用に問題はありません。また、使用済みのオートミニドージャーをはがした後に皮膚に薬液が何滴か残っていたり、オートミニドージャーから薬液が数滴漏れても問題ありません。

Q レパーサを箱から出して保管できますか？

レパーサは遮光が必要です。光や衝撃を受けないように箱(個包装)に入れたまま、冷蔵庫に入れ、2~8℃で保管してください。



常温に戻したオートミニドージャーを長期間常温のまま保存することはできますか？

レパーサの保管は遮光下で凍結を避け2～8℃であり、オートミニドージャーでは45分以上、箱(個包装)のまま遮光した状態で室温に戻してから投与することとしています。そのため、温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。在宅自己注射のための持ち運び時においても、例えば、車のダッシュボードやトランク等でそのまま保管されることのないようご注意ください。



オートミニドージャーで注射した後、針はどのような状態ですか？

投与完了後にオートミニドージャーを皮膚からはがすと、針は針カバーの内部に格納される仕組みになっております。針刺し事故を防止するようになってはいますが、投与後は誤って針を刺さないよう十分ご注意ください。ようよろしくお願いいたします。

万が一、針が針カバーの内部に格納されないなど針カバーが正常に作動しなかった場合は、誤穿刺を防ぐため、針カバーに触れずに破棄してください。





URL : <https://acve-navi.jp/>



再発予防ガイド ACS

心筋梗塞・不安定狭心症で入院中の方と そのご家族へ **再発予防ガイド**

心筋梗塞・不安定狭心症で入院された患者さんとそのご家族のための情報サイトです。病気についての解説や日常生活の改善のポイントなど、再発予防のために欠かせない情報をお届けします。

●再発予防のためのポイント



●快適で質の良い生活のための心臓リハビリテーション



●急性冠症候群(ACS)の基礎知識



お問合せ先(患者さん、ご家族の方向け)

アムジェン メディカルインフォメーションセンター

受付時間 / 月～金 9:00～17:30 (土日・祝日・会社休日を除く)

☎ 0120-952-206

アムジェン株式会社 アステラス製薬株式会社

(2022年3月印刷) MH-Σ

RPA95006A06
EVO200009MH6